

D | AMグローバル・アクティブ・バランスファンド

<愛称：クラシックエイト>

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、実質的に国内外の債券、株式、不動産投資信託証券へ分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年5月10日～2022年11月8日

第181期	決算日：2022年6月8日	
第182期	決算日：2022年7月8日	
第183期	決算日：2022年8月8日	
第184期	決算日：2022年9月8日	
第185期	決算日：2022年10月11日	
第186期	決算日：2022年11月8日	
第186期末 (2022年11月8日)	基準価額	8,609円
	純資産総額	1,622百万円
第181期～ 第186期	騰落率	0.2%
	分配金合計	60円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

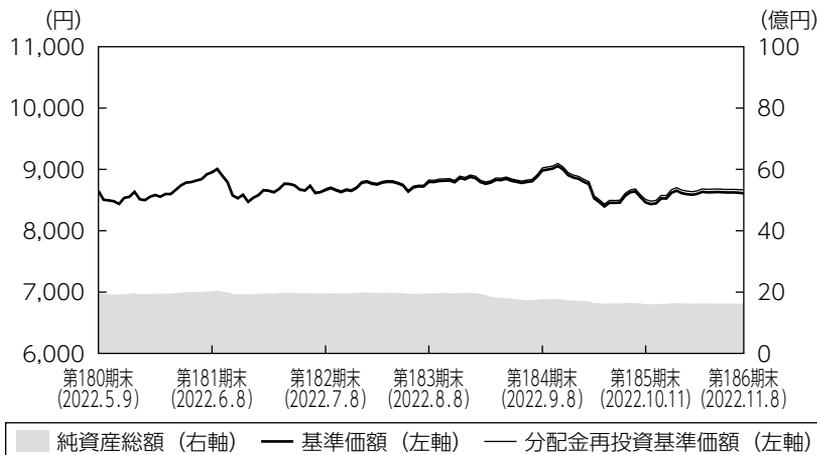
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第181期首：8,649円
 第186期末：8,609円
 (既払分配金60円)
 騰落率：0.2%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

高インフレへの懸念や、インフレ抑制を目的とした主要国の金融引き締め加速観測等から主要国の長期金利が上昇（債券価格は下落）したこと、また主要国の長期金利の上昇や金融引き締めに対する懸念から外国の株式市場やリート市場が下落したことがマイナスに寄与しました。一方、国内外の金融政策の方向性の違いが意識されたことや内外金利差の拡大等を背景に主要通貨に対して円安が進んだことがプラスに寄与しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
国内債券アクティブ・マザーファンド	△2.0%
高金利ソブリン・マザーファンド*	4.3%
D I AM日本好配当株オープン・マザーファンド	1.4%
D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド*	5.4%
J-R E I Tオープン・アクティブ・マザーファンド	△3.9%
D I AM US・リート・オープン・マザーファンド*	△8.1%
D I AM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド*	△9.0%
D I AM新興国債券マザーファンド	4.4%
D I AM B R I C S株式マザーファンド	△7.7%

*騰落率は、当ファンドが保有していた期間（2022年10月26日まで）の騰落率です。

1 万口当たりの費用明細

項目	第181期～第186期		項目の概要
	(2022年5月10日～2022年11月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	57円	0.661%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,692円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(26)	(0.303)	
(販売会社)	(28)	(0.320)	
(受託会社)	(3)	(0.038)	
(b) 売買委託手数料	2	0.027	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(1)	(0.015)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(1)	(0.012)	
(c) 有価証券取引税	1	0.010	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.010)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	24	0.281	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(16)	(0.186)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(8)	(0.093)	
合計	85	0.978	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

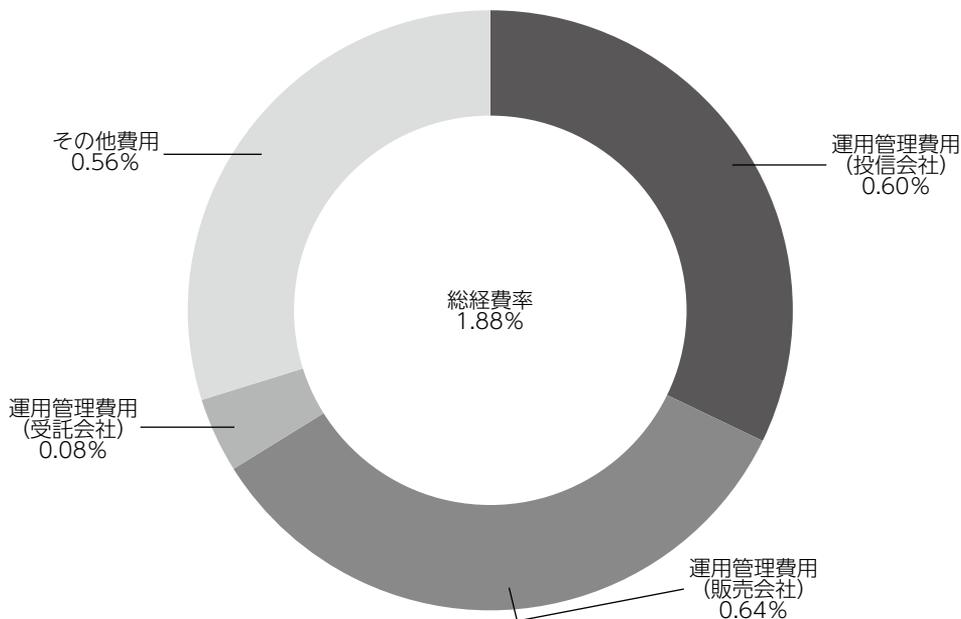
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



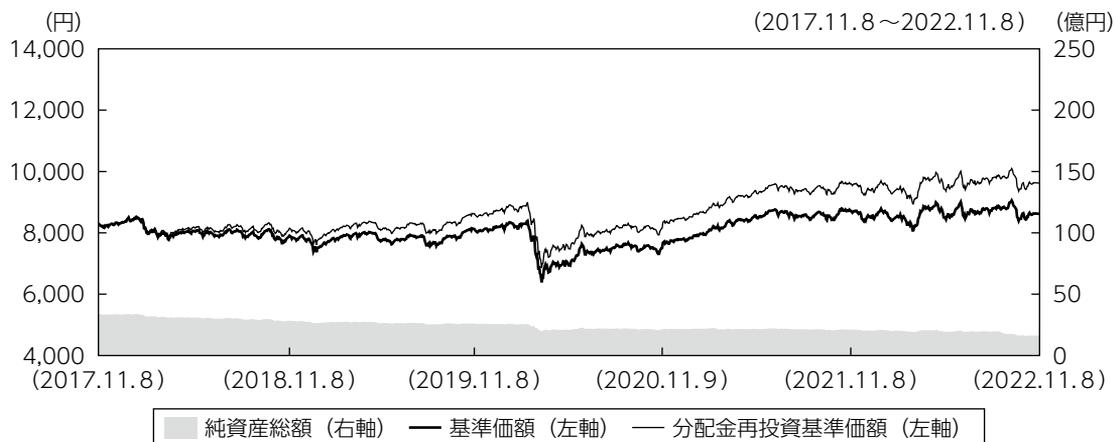
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年11月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2017年11月8日 期首	2018年11月8日 決算日	2019年11月8日 決算日	2020年11月9日 決算日	2021年11月8日 決算日	2022年11月8日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	8,257	7,910	8,124	7,505	8,718	8,609
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	240	240	170	120	120
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△1.3	5.9	△5.5	17.8	0.1
純資産総額	(百万円)	3,376	2,849	2,604	2,114	2,108	1,622

(注) 運用方針に合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

投資環境

国内債券市場では、長期金利（10年国債利回り）は、世界的なインフレ圧力から米欧の中央銀行が金融政策の引き締めに取り組む姿勢を鮮明化したことを背景に2022年6月中旬に一時0.25%を超える場面もありました。その後、8月上旬に一時0.1%台半ばまで低下（価格は上昇）したものの、下旬以降は海外金利の一段の上昇を受けて国内金利も上昇し、作成期末は0.25%まで上昇しました。

外国債券市場では、投資国の国債利回りが上昇しました。新型コロナウイルス禍からの経済回復局面での商品や労働力の供給不足、ウクライナ紛争によるロシアからのエネルギー供給制約が要因となり、投資国のインフレ率が中央銀行の目標を大きく上回る水準に達したことなどから、中央銀行がインフレ抑制を最優先に積極的な利上げを進め、利回りが上昇しました。

国内株式市場は、中国のロックダウンによる景気減速や、米欧の金融引き締め政策の進展とそれに伴う先行きの景気減速が懸念された一方、コロナ禍からの経済活動の正常化、為替の円安による企業業績へのプラス効果やバリュエーション上の割安感などから、ボックス圏での推移となりました。

外国株式市場は下落しました。作成期初から2022年8月中旬までは米欧など主要国の金融政策に対する思惑から一進一退の推移となりましたが、その後は米インフレ指標が市場予想を上回ったことや米欧の中央銀行がタカ派姿勢を強めたことなどから景気後退懸念が高まり、下落基調で推移しました。10月には好調な企業決算を背景に反発し、一部値を戻して作成期末を迎えました。

国内リート市場は僅かに下落しました。日銀が緩和的な金融政策を継続したものの、世界的な物価上昇を背景とした金融引き締め懸念に加え、ウクライナ情勢など地政学リスクへの警戒感などが重石となり、国内リート市場は上値の重い展開となりました。

米国リート市場は下落しました。作成期初以降、F R B（米連邦準備理事会）による利上げ加速への警戒感から下落しました。良好な米国リーートの第2四半期決算や、利上げペース鈍化期待から値を戻す局面もありましたが、インフレ懸念が継続する中で米長期金利が上昇し、米国リート市場は弱含みしました。セクター別では、オフィスや工業などが大きく下落しました。

米国以外の海外リート市場は、下落しました。欧州市場はユーロ圏のインフレに伴うE C B（欧州中央銀行）の利上げ加速懸念の高まりなどから下落しました。アジア市場では世界的な金利の上昇懸念や、中国でのゼロ・コロナ政策の維持などを背景に、香港、シンガポールともに下落しました。オーストラリア市場でも、同国中央銀行による利上げの実施などから下落しました。

投資国の米ドル建て新興国債券市場では、基準金利となる米国国債とのスプレッド（利回り格差）が拡大しました。ロシアによるウクライナ侵攻や、F R Bをはじめとした世界の主要な中央銀行による金融引き締め政策を受け、世界経済の先行きに対する悲観的な見方が強まり、市場心理が圧迫されたことが主な要因となりました。一方で、作成期末にかけては、F R Bなどの利上げ幅縮小観測から市場心理がやや持ち直し、新興国の利回り格差も縮小しました。

新興国株式市場は下落しました。厳しい新型コロナウイルス感染拡大抑制策により景気悪化が懸念された中国株式市場が下落しました。一方、利上げ局面が一巡したブラジル株式市場や、新型コロナウイルス感染拡大が抑制され堅調な景気動向が続くインド株式市場は上昇しました。

為替市場では主要通貨に対して円安の動きとなりました。米ドル／円相場は、米国が金融政策の正常化を進める一方で日銀が金利上昇を抑制する姿勢を明確に示したことで日米の金融政策の方向性の違いが意識されたことや、米国の金利が大きく上昇し内外金利差が拡大したこと等を材料に、円安米ドル高の動きとなりました。その他の主要通貨においても、金融政策の方向性の違いが意識されたことや内外金利差の拡大等を背景に円安現地通貨高となりました。

ポートフォリオについて

当ファンドでは、マザーファンドを通じて国内外の株式、債券およびリートと、新興国の株式・債券の8資産に投資を行いました。また、組入れる8資産の保有比率が基本資産配分比率に維持されるように資産配分を行いました。

2022年10月下旬以降、2023年2月8日の繰上償還（信託終了）に向け、高金利ソブリン・マザーファンド、D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド、D I AM US・リート・オープン・マザーファンドおよびD I AM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドを売却しました。また、保有を継続しているマザーファンドにおいても、保有有価証券の売却を行いました。

●国内債券アクティブ・マザーファンド

デュレーション*・イールドカーブ戦略は、超長期ゾーンをアンダーウェイトとするデュレーション短期化戦略やイールドカーブの傾斜度合いの強まりを見込む戦略を継続しました。クレジット戦略は、2022年8月に事業債を全額売却し、アンダーウェイトとしました。

なお、当マザーファンドは繰上償還に向け、2022年10月25日に全ての有価証券を売却しました。

*金利変動に対する債券価格の変動性。

●高金利ソブリン・マザーファンド

当作成期は、前作成期末の投資通貨を維持しました。投資通貨の配分については、ウクライナ紛争の影響などから欧州景気は下押し圧力を受けやすいと判断し、ポーランドや英ポンドなど欧州通貨の配分を引き下げた他、アジア圏では相対的に金利水準の低いタイの配分を引き下げました。一方で、相対的な景気力強さや金利水準などから米国の配分を段階的に引き上げる変更を行いました。

●D I AM日本好配当株オープン・マザーファンド

予想配当利回りが市場平均と比較して高いと判断した銘柄を中心に投資を行いました。銘柄の選定にあたっては業績動向、財務内容の健全性などに留意した上で、今後高水準かつ安定的な配当を予想する銘柄を中心に選別しました。この結果、東証33業種分類では、卸売業、輸送用機器、銀行業などの比率を高めて運用を行いました。なお、当マザーファンドは繰上償還に向け、2022年10月25日に全ての有価証券を売却しました。

●D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド

銘柄選択においては、「地域の分散」、「業種の分散」に着目し、世界の好配当株への投資を通じて、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の確保をめざした運用を行いました。地域別では、概ね前作成期末と同様の資産配分を維持しました。業種別では、幅広い業種に分散投資を行う中、金融やヘルスケアセクターに対する投資比率を高位に維持しました。

● J-R E I Tオープン・アクティブ・マザーファンド

相対的に割安な銘柄や業績安定感がある銘柄を中心に運用を行いました。なお、当マザーファンドは繰上償還に向け、2022年10月25日に全ての有価証券を売却しました。

● D I A M U S・リート・オープン・マザーファンド

適正価格に到達したと見られる銘柄については、適宜入れ替えを行いました。また、米国景気の先行きや米長期金利の動向も注視しつつ、保守的な財務体質かつ長期的に見て成長見込みがある銘柄や、割安な水準にある銘柄を選別して投資しました。工業、小売りなどの組入比率を引き上げた一方、ヘルスケアなどの組入比率を引き下げました。

● D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

保守的な財務体質かつ配当成長の見込めるキャッシュフローの安定した銘柄を選別して投資を行いました。また、適正価格に到達した銘柄は適宜入れ替えを行いました。地域別では、オーストラリアやカナダなどの組入比率を引き上げた一方、イギリスなどの組入比率を引き下げました。また、セクター別では、小売りなどの組入比率を引き上げた一方、オフィスなどの組入比率を引き下げました。

● D I A M新興国債券マザーファンド

主として、ブラジル、メキシコ、トルコ、南アフリカが発行する米ドル建て国債を保有したほか、一部南アフリカとメキシコの現地通貨建て国債を保有しました。米ドル建てロシア国債については、ロシアによるウクライナ侵攻を受けた制裁措置に伴う決済リスクに鑑み、速やかに売却し、保有を解消しました。なお、当マザーファンドは繰上償還に向け、2022年10月25日に全ての有価証券を売却しました。

● D I A M B R I C s 株式マザーファンド

計量モデルを活用し、割安性・成長性に着目し、企業ファンダメンタルズを総合的に評価の上、投資魅力度の高い銘柄の選定を行いました。なお、当マザーファンドは繰上償還に向け、2022年10月25日に全ての有価証券を売却しました。

■ 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期	第186期
	2022年5月10日 ~2022年6月8日	2022年6月9日 ~2022年7月8日	2022年7月9日 ~2022年8月8日	2022年8月9日 ~2022年9月8日	2022年9月9日 ~2022年10月11日	2022年10月12日 ~2022年11月8日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.11%	0.12%	0.11%	0.11%	0.12%	0.12%
当期の収益	10円	10円	10円	10円	10円	2円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	7円
翌期繰越分配対象額	244円	249円	254円	270円	281円	274円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

2023年2月8日の繰上償還（信託終了）に向け、一部の組入マザーファンドを売却しました。また、保有を継続しているマザーファンドにおいても、保有有価証券の売却を行っており、当ファンドは実質的にキャッシュのみでの運用を継続します。

- 国内債券アクティブ・マザーファンド
当マザーファンドは2023年2月7日の繰上償還（信託終了）に向け、有価証券を売却済みです。
- D I A M日本好配当株オープン・マザーファンド
当マザーファンドは2023年2月7日の繰上償還（信託終了）に向け、有価証券を売却済みです。
- J - R E I Tオープン・アクティブ・マザーファンド
当マザーファンドは2023年2月7日の繰上償還（信託終了）に向け、有価証券を売却済みです。
- D I A M新興国債券マザーファンド
当マザーファンドは2023年2月7日の繰上償還（信託終了）に向け、有価証券を売却済みです。
- D I A M B R I C s 株式マザーファンド
当マザーファンドは2023年2月7日の繰上償還（信託終了）に向け、有価証券を売却済みです。

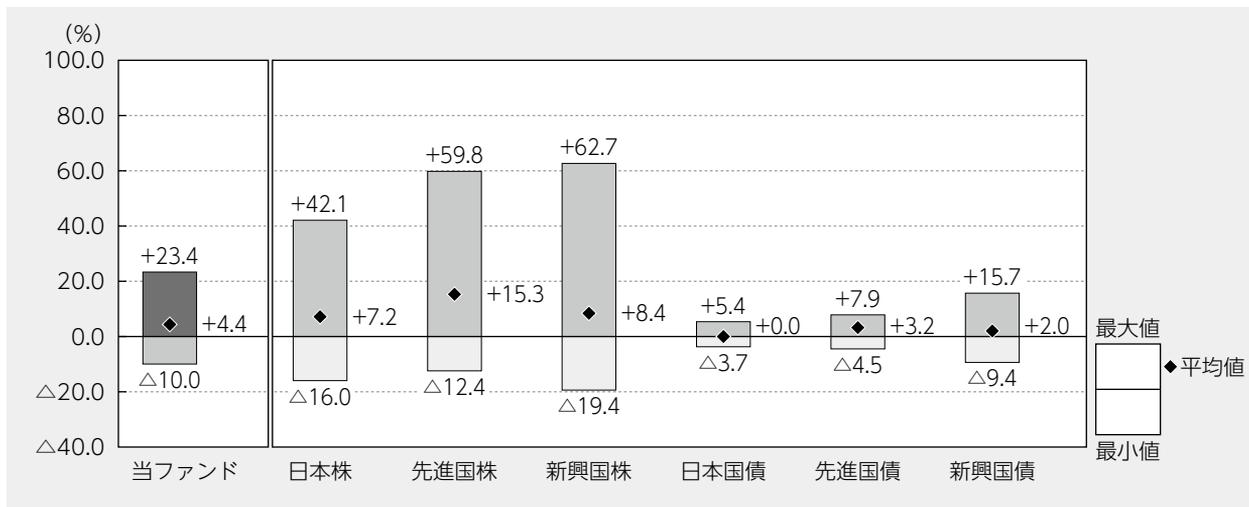
お知らせ

■当ファンドは、2023年2月8日に繰上償還（信託終了）を実施致します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2007年5月23日から2023年2月8日（当初無期限）までです。	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。	
主要投資対象	D I A M グローバル・アクティブ・バランスファンド	以下の各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	国内債券アクティブ・マザーファンド	国債、国内企業の発行による普通社債、転換社債等を主要投資対象とします。
	高金利ソブリン・マザーファンド	高金利国のソブリン債券を主要投資対象とします。
	D I A M 日本好配当株オープン・マザーファンド	主としてわが国の証券取引所（新興市場を含む）に上場している全銘柄を投資対象とします。
	D I A M 世界好配当株オープン・マザーファンド	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
	J-R E I T オープン・アクティブ・マザーファンド	東京証券取引所に上場し、東証 R E I T 指数に採用されている（または採用予定の）不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	D I A M U S ・リート・オープン・マザーファンド	米国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
	D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	米国および日本を除く世界各国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
	D I A M 新興国債券マザーファンド	新興国のソブリン債券を主要投資対象とします。
D I A M B R I C S 株式マザーファンド	ブラジル、ロシア、インド、中国の株式を主要投資対象とします。	
運用方法	<p>各マザーファンドの受益証券への投資を通じ、実質的に国内外の債券、株式、不動産投資信託証券への分散投資を行います。</p> <p>各マザーファンド受益証券の組入比率については、委託会社が定める基本資産配分比率に基づき投資を行います。ただし、国外の不動産投資信託証券へ投資するマザーファンドについては、各マザーファンドの純資産総額を合算して資産配分を算出します。</p> <p>各マザーファンド受益証券の時価の変動等により各マザーファンドの純資産総額が基本資産配分比率から一定量以上乖離した場合には、各マザーファンド受益証券への投資割合を基本資産配分比率に近づけることとします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。</p>	
分配方針	<p>決算日（原則として毎月8日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、毎月の収益分配については、利子配当等収益を中心に安定した収益分配を継続的に行うことをめざします。また、四半期（1月、4月、7月、10月）の決算時には、利子配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額から分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年11月～2022年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2022年11月8日現在）

◆組入ファンド等 (組入ファンド数：5ファンド)

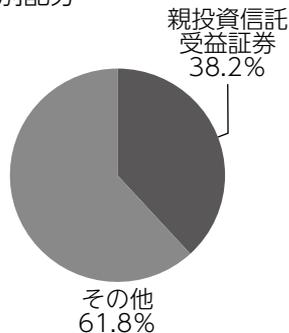
	第186期末
	2022年11月8日
J-R E I Tオープン・アクティブ・マザーファンド	10.2%
D I A M日本好配当株オープン・マザーファンド	9.8
D I A M新興国債券マザーファンド	7.3
D I A M B R I C s 株式マザーファンド	5.5
国内債券アクティブ・マザーファンド	5.4
その他	61.8

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

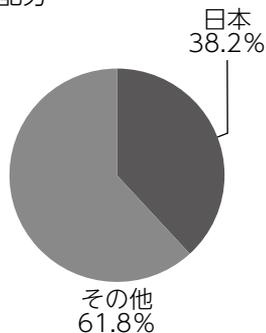
(注2) 組入全ファンドに関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

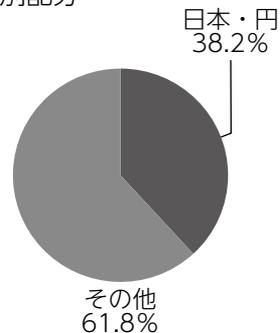
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

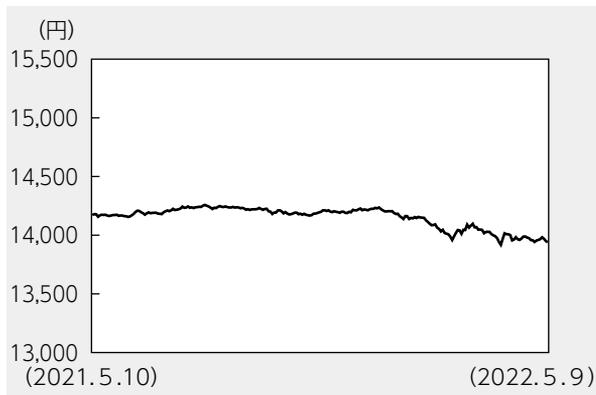
項目	第181期末	第182期末	第183期末	第184期末	第185期末	第186期末
	2022年6月8日	2022年7月8日	2022年8月8日	2022年9月8日	2022年10月11日	2022年11月8日
純資産総額	2,029,817,836円	1,958,144,005円	1,964,389,331円	1,766,865,453円	1,607,517,867円	1,622,430,057円
受益権総口数	2,267,431,965口	2,260,093,664口	2,232,929,966口	1,967,170,058口	1,899,879,604口	1,884,627,128口
1万口当たり基準価額	8,952円	8,664円	8,797円	8,982円	8,461円	8,609円

(注) 当作成期間（第181期～第186期）中における追加設定元本額は663,629円、同解約元本額は390,565,861円です。

組入ファンドの概要

【国内債券アクティブ・マザーファンド】（計算期間 2021年5月11日～2022年5月9日）

◆基準価額の推移



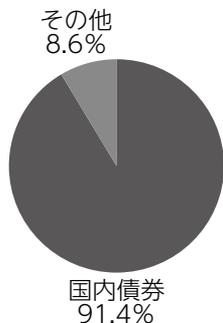
◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
432回 利付国庫債券（2年）	日本・円	9.0%
72回 利付国庫債券（30年）	日本・円	6.5
428回 利付国庫債券（2年）	日本・円	6.4
149回 利付国庫債券（5年）	日本・円	6.4
73回 三菱UFJリース社債	日本・円	6.4
365回 利付国庫債券（10年）	日本・円	6.3
364回 利付国庫債券（10年）	日本・円	6.0
154回 利付国庫債券（20年）	日本・円	5.6
142回 利付国庫債券（5年）	日本・円	4.5
140回 利付国庫債券（20年）	日本・円	4.4
組入銘柄数	34銘柄	

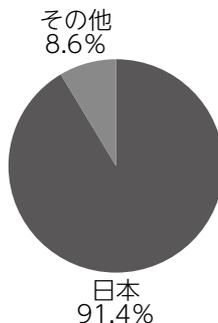
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

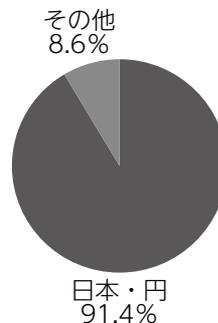
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

（注2）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

（注3）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

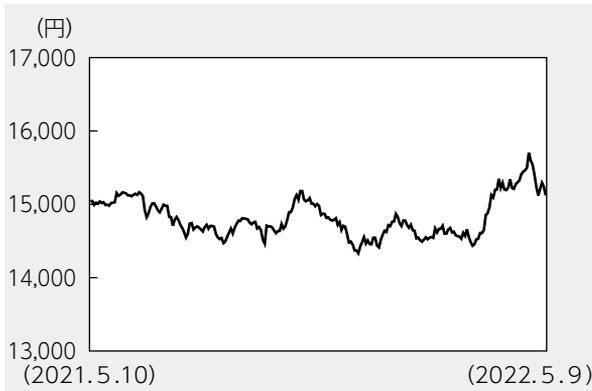
（注4）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注5）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【高金利ソブリン・マザーファンド】（計算期間 2021年5月11日～2022年5月9日）

※決算時における組入はありません。

◆基準価額の推移



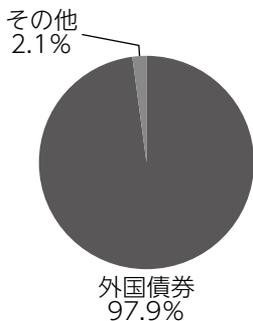
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
AUSTRALIAN 0.5 09/21/26	オーストラリア・ドル	8.8%
UK TREASURY 4.25 12/07/27	イギリス・ポンド	6.4
US T N/B 0.375 01/31/26	アメリカ・ドル	5.9
CANADA 1.0 06/01/27	カナダ・ドル	5.8
MALAYSIA 3.906 07/15/26	マレーシア・リンギット	5.7
NEW ZEALAND 4.5 04/15/27	ニュージーランド・ドル	5.7
THAILAND 2.125 12/17/26	タイ・バーツ	5.1
NORWAY 1.5 02/19/26	ノルウェー・クローネ	5.1
SINGAPORE 2.625 05/01/28	シンガポール・ドル	4.6
POLAND 2.5 07/25/26	ポーランド・ズロチ	4.5
組入銘柄数	24銘柄	

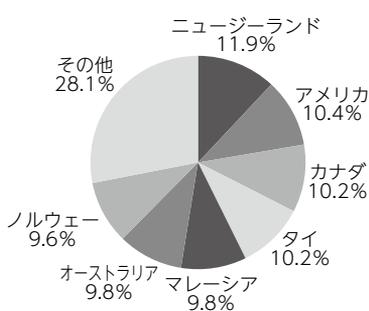
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	9円	0.060%
(その他)	(9)	(0.060)
合計	9	0.060
期中の平均基準価額は14,821円です。		

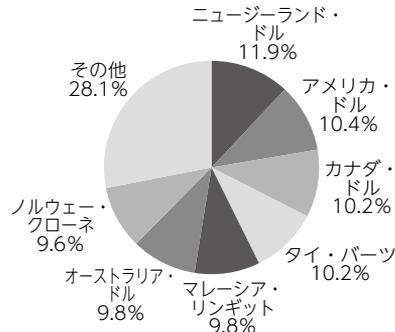
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

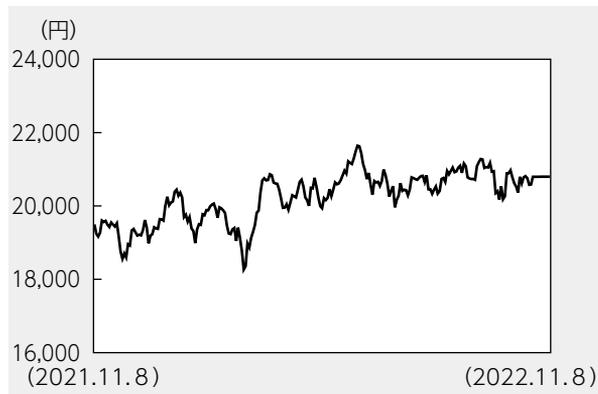
(注6) 国別配分は発行国（地域）を表示しています。

(注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【D I AM日本好配当株オープン・マザーファンド】（計算期間 2021年11月9日～2022年11月8日）
当ファンドに組入れておりました有価証券は期中に全て売却いたしました。

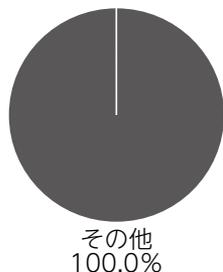
◆基準価額の推移



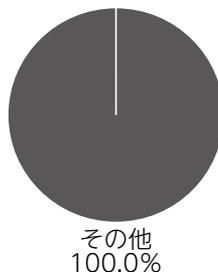
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	25円 (25)	0.122% (0.122)
合計	25	0.122
期中の平均基準価額は20,236円です。		

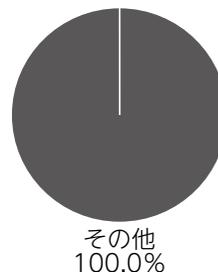
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

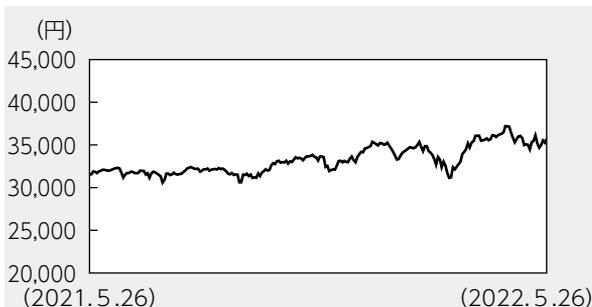
(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド】（計算期間 2021年5月27日～2022年5月26日）

※決算時における組入はありません。

◆基準価額の推移



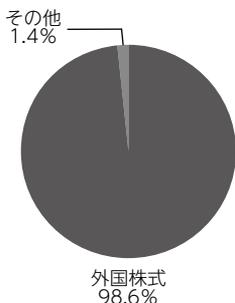
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
MCDONALD'S CORPORATION	アメリカ・ドル	3.6%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.2
METLIFE INC	アメリカ・ドル	2.9
MERCK & CO.INC.	アメリカ・ドル	2.8
MASTERCARD INC	アメリカ・ドル	2.7
NOVARTIS AG-REG SHS	スイス・フラン	2.4
CHEVRON CORP	アメリカ・ドル	2.4
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	2.3
GSK PLC	イギリス・ポンド	2.2
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	ユーロ	2.2
組入銘柄数	82銘柄	

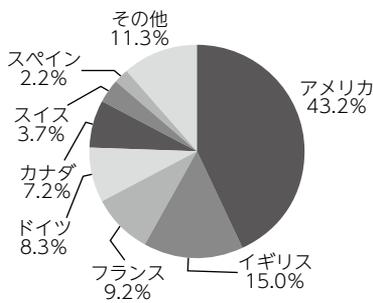
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	13円 (13)	0.038% (0.038)
(b) 有価証券取引税 (株式)	9 (9)	0.026 (0.026)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	6 (6) (0)	0.019 (0.018) (0.001)
合計	28	0.084
期中の平均基準価額は33,264円です。		

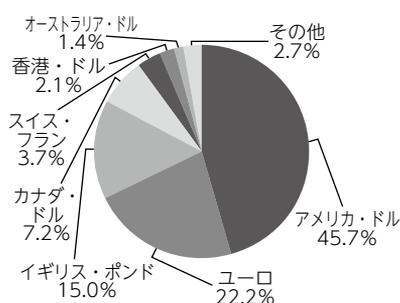
◆資産別配分



◆国別配分



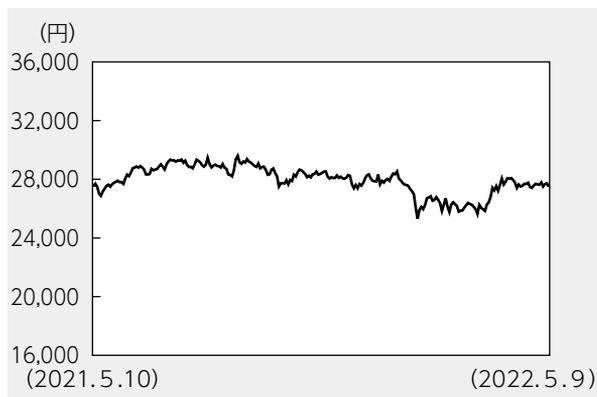
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
 (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
 (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
 (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注5) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。
 (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
 (注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
 (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【J-REITオープン・アクティブ・マザーファンド】 (計算期間 2021年5月11日～2022年5月9日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

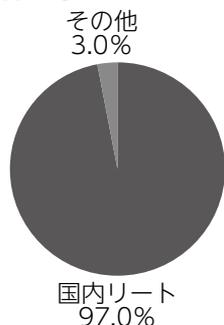
銘柄名	通貨	比率
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	7.0%
日本プロロジスリート投資法人	日本・円	5.9
GLP投資法人	日本・円	5.5
日本ビルファンド投資法人	日本・円	5.3
日本都市ファンド投資法人	日本・円	4.3
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	4.1
大和ハウスリート投資法人	日本・円	3.9
オリックス不動産投資法人	日本・円	3.1
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	3.0
ユナイテッド・アーバン投資法人	日本・円	3.0
組入銘柄数		52銘柄

◆1万口当たりの費用明細

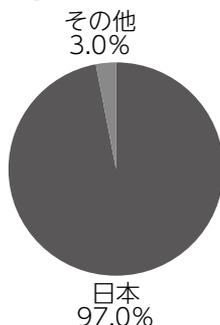
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	2円 (2)	0.007% (0.007)
合計	2	0.007

期中の平均基準価額は27,923円です。

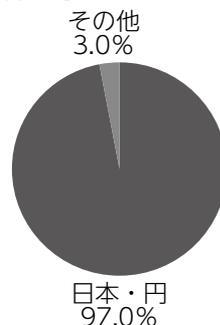
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

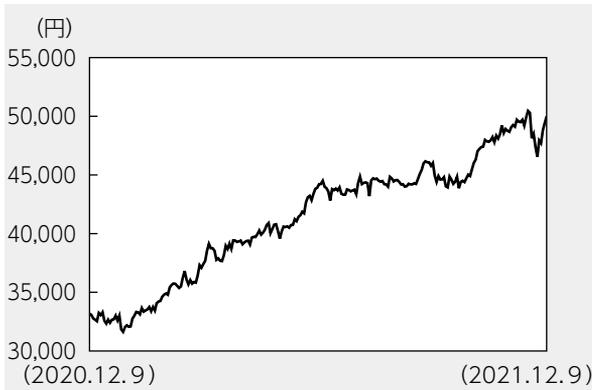
(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【DIAM US・リート・オープン・マザーファンド】（計算期間 2020年12月10日～2021年12月9日）

※決算時における組入はありません。

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

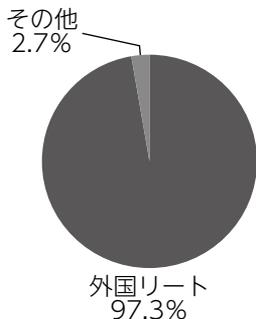
銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	7.4%
AMERICAN CAMPUS COMMUNITIES	アメリカ・ドル	4.0
TERRENO REALTY CORP	アメリカ・ドル	4.0
AMERICAN TOWER CORP	アメリカ・ドル	3.9
REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	アメリカ・ドル	3.9
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	3.8
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	3.6
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.5
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	3.4
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	3.4
組入銘柄数	42銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

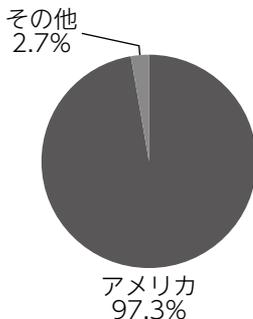
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	14円 (14)	0.033% (0.033)
(b) その他費用 (保管費用)	5 (4)	0.013 (0.011)
(その他)	(1)	(0.002)
合計	19	0.046

期中の平均基準価額は41,422円です。

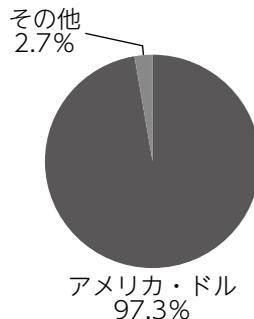
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

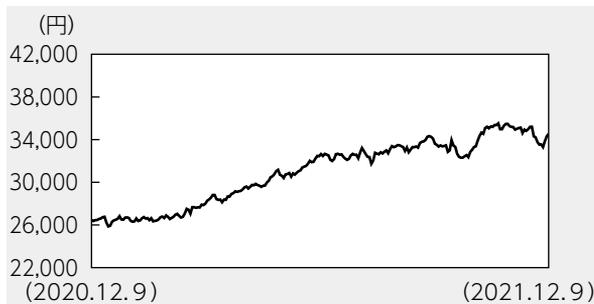
(注6) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド] (計算期間 2020年12月10日~2021年12月9日)

※決算時における組入はありません。

◆基準価額の推移



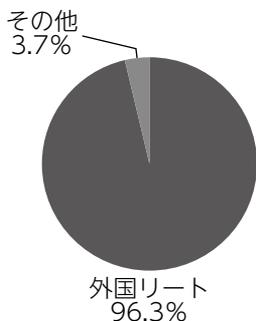
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	3円 (1) (2)	0.011% (0.004) (0.007)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	2 (0) (2)	0.006 (0.001) (0.006)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	6 (6) (1)	0.021 (0.018) (0.003)
合計	12	0.038
期中の平均基準価額は30,977円です。		

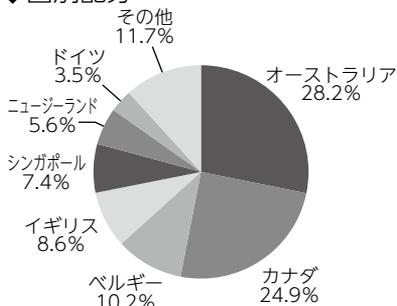
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
WAREHOUSES DE PAUW	ユーロ	8.7%
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTRALIA	オーストラリア・ドル	7.5
SEGRO PLC	イギリス・ポンド	6.0
GOODMAN PROPERTY TRUST	ニュージーランド・ドル	5.6
KILLAM APARTMENT REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	カナダ・ドル	5.5
CANADIAN APT PPTYS REIT	カナダ・ドル	4.5
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	3.9
RIOCAN REAL ESTATE INVEST TRUST	カナダ・ドル	3.7
NATIONAL STORAGE REIT	オーストラリア・ドル	3.6
ALSTRIA OFFICE REIT-AG	ユーロ	3.5
組入銘柄数	32銘柄	

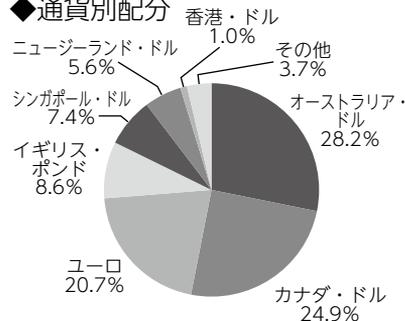
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

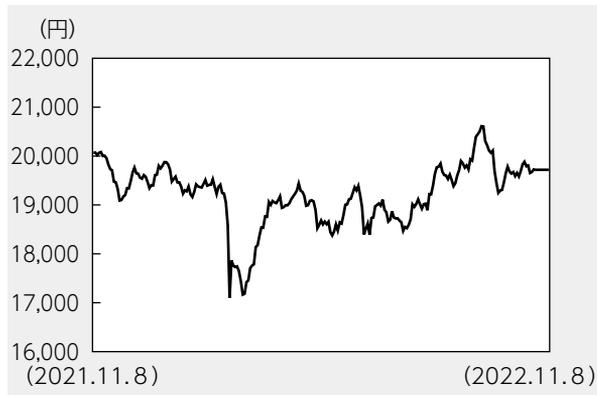
(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【D I AM新興国債券マザーファンド】（計算期間 2021年11月9日～2022年11月8日）
当ファンドに組入れておりました有価証券は期中に全て売却いたしました。

◆基準価額の推移

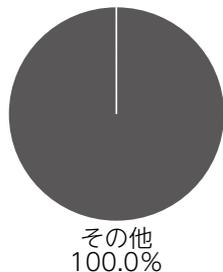


◆1万口当たりの費用明細

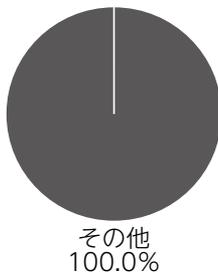
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	97円 (96)	0.502% (0.498)
(その他)	(1)	(0.004)
合計	97	0.502

期中の平均基準価額は19,216円です。

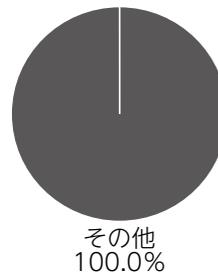
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

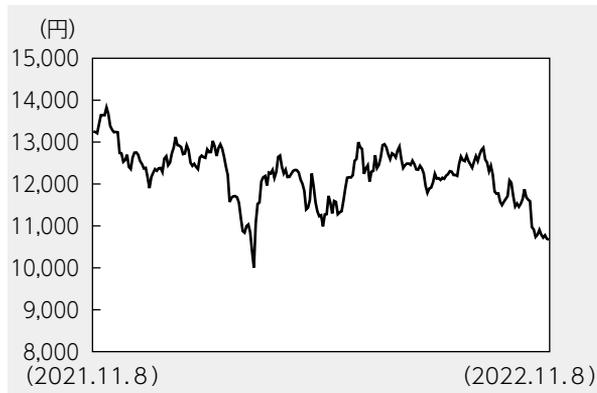
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[DIAM BRICS 株式マザーファンド] (計算期間 2021年11月9日～2022年11月8日)
当ファンドに組入れておりました有価証券は期中に全て売却いたしました。

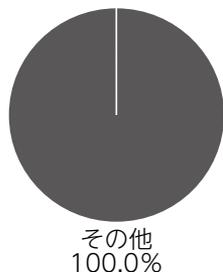
◆基準価額の推移



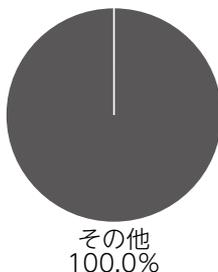
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託受益証券)	22円 (21) (0)	0.179% (0.176) (0.003)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託受益証券)	23 (23) (0)	0.192 (0.191) (0.001)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	617 (378) (239)	5.053 (3.099) (1.954)
合計	662	5.424
期中の平均基準価額は12,209円です。		

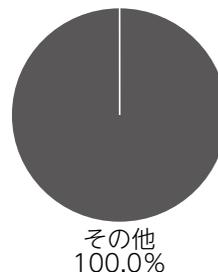
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。